

近づく「ハレ」と「ケ」の距離

産業や経済が成熟するなか、ライフスタイルが変化し、消費の形が変わる。生活は祭事や結婚式といった特別の日で非常の「ハレ」と、普段の生活で日常の「ケ」に分けられるが、現在はハレとケは近い距離があり、両方とも大切にしたいという傾向がある。この変化を捉えた、注目を集める都市がある。米オレゴン州のポートランドだ。

探訪 新ライフスタイル

「テイキング」という取り組みも定着。地元のシェフが定期的に意見交換する機会を持つことができ、消費者や利用者が望む野菜や果物がわかり、生産者もニーズにあった計画的な作付けができる仕組みだ。

さらに、その日常に浸りたいという観光客が数多く押し寄せる。日常の生活を送る地域住民との



米オレゴン州のポートランドにはファーマーズマーケットが数多く存在する

「ケ」を大切にしているから、延長線にあるもの。こ
「ハレ」の喜びがある。こ
にフランス料理を出す
「レミさんち」が昨年4
月にオープンし、人気を
博している。

現代の生活者は日常の心地良い居場所を求めて深掘りしていくと、そこには大きなビジネスチャンスが潜んでいるように思われる。都営新宿線西大島駅から徒歩で18分、東京メトロ東西線南砂町駅か、大きなや便利さ、安ら20分と恵まれた立地とさだけが日常の軸ではない。これからは「日常の砂町銀座商店街。周辺には若い世代が増えてきハレ」というキーワードがある。福岡・中洲の屋台も同様だ。福岡市が首頭を取って観光客向けに価格表示などの整備を進めています。

暮らすように旅をする

現代の成熟化社会が抱える様々な社会課題の解決策がポートランドにはたくさんある。例えば、市内各地で開催される「ファーマーズ

交流はまさにリベンジする」といった新たな観
「ハレ」の喜びがある。こ
にフランス料理を出す
「レミさんち」が昨年4
月にオープンし、人気を
博している。

良質な自然環境、徒歩
圏や自転車での生活と仕事
が完了できる住環境、ワ
我慢するのではなく、

福岡・中洲の屋台も同
様だ。福岡市が首頭を取
って観光客向けに価格表
示などの整備を進めています。

ライフスタイル

福岡・中洲の屋台も同
様だ。福岡市が首頭を取
って観光客向けに価格表
示などの整備を進めています。